

平成 28 年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

横浜市大場地域ケアプラザ

2 事業報告概要

地域の現状と課題について

大場地域ケアプラザの担当エリアは、あざみ野団地やイディオス等、大型の団地やマンションもありますが、全体的には戸建ての住宅の多い地域です。坂の多い地形で、入り口に階段のある住宅も多く見られます。そのため、高齢になり足腰が弱ると外出が困難になることなどが懸念されます。

ケアプラザは、駅から離れた場所にあること、坂の上にあることなどから、一部地域の方には利用しづらい立地条件にあります。また、ケアプラザエリアが広いため、ケアプラザに来るにはバスと電車の乗り継ぎが必要な地域もあります。

ケアプラザの自主事業では「健康」「認知症予防」などのテーマには関心が高く、これらのテーマで実施した事業は他の自主事業よりも参加者が多い傾向があります。

年少人口比率は荏子田町 16.0%やみすずが丘 16.6%、あざみ野四丁目 15.7%等、最近になって開発された地域では区平均（14.1%）と比べ高くなっています。一方で、高齢化率は、あざみ野二丁目 23.7%、三丁目 29.5%、四丁目 20.6%、元石川町 22.6%、（青葉区 20.3%）と、高くなっている地域も多くあります。（「横浜市統計ポータルサイト」より人口データを基に算出＜平成 29 年 3 月現在＞）

また、地域の課題としては

- ア. ここ数年、認知症に関しての相談の件数が増えており、認知症に関する知識の普及啓発や地域ぐるみで認知症の方を支える仕組みづくりの必要性が高まっています。
- イ. 自主事業への参加率は女性の方が高い傾向にあります。また、定年退職される男性が地域で増えてきています。そうしたことから男性が参加できたり、活躍できる事業と場づくりが求められています。
- ウ. 健康づくりやボランティア活動が盛んな地域ですが、活動団体間の交流や活動情報が地域の方に行き届いていません。
- エ. 子育て世代が多く、より身近な地域で子育て中の保護者が交流したり、情報交換や育児の悩みを相談できるような様々な場所を求められています。

3 施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

地域の様々な方が快適・安全に利用できるように、施設・設備の管理・保守を行いました。具体的には、設備総合巡視、空調設備、消防設備、自家用電気工作物等の定期的な保守点検、定期清掃や日常清掃、衛生管理、緑化管理、什器等の不具合の対応等を専門の委託業者と契約し適切に対応しました。

また、緑化管理については、年 1 回の植栽管理にとどまらず、お客様が快適に過せるような庭づくり、環境整備を行いました。

イ 効率的な運営への取組について

指定管理の運営が適切に、且つ、効率的に運営できるように法人関係部署、各担当が連携して取り組みました。

市内中小企業優先を踏まえつつ、経費削減にむけ法人本部とも連携を図りました。建物管理・保守、清掃等の委託業者の選定では電子入札等を実施しました。また、法人のスケールメリットを活用し、法人内の他の事業所と合同で車両リースの一括入札や消耗品の共同購入などを行いました。

ウ 苦情受付体制について

法人の苦情解決規則に基づき、地域ケアプラザにおいても苦情受付担当者・苦情解決責任者を配置して、お客様からのご意見・ご要望・苦情など様々な声に対応するとともに再発防止や改善に努めました。

法人内で月1回サービス向上委員会を設置し、同一法人内の他の施設でいただいた、ご意見・ご要望等を共有して、法人全体でお客様が快適にご利用いただける様取り組みました。

また、法人において公正・中立の立場から斡旋・調整を行う第三者委員を設置し適切な苦情解決に向けて取り組みました。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

緊急時に備えて、各種対応マニュアル・BCP（サービス提供継続計画）を整備しました。年2回防災訓練を実施し、緊急時にケアプラザ職員がマニュアルに則り適切な対応がとれるよう災害時の備えを行いました。

また、横浜市から特別避難場所としての指定を受けており、災害時に地域防災拠点では避難生活を送ることが困難な高齢者などの避難場所としての役割に備えました。

防犯対策としては、警備会社と委託契約を結び適宜対応ができる体制を整えました。

オ 事故防止への取組について

事故発生の際は、再発防止に向けて迅速に原因の究明・分析、対応策を検討し、報告書を作成し、区役所、市役所及び法人本部に報告しました。また、ミーティングや全体会議で事例を報告すると共に、事故防止策について職員全員に周知を徹底しました。さらに日常の業務においては、「ヒヤリ・ハット」報告の徹底とその後の共有化にて原因の究明および改善点の検討を行うなど、事故を未然に防ぐように努めました。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

個人情報の取り扱いには具体的な取り扱いとマニュアルを定め、全職員に徹底して保護に努めました。

具体的な対策は以下のとおりです。

- ア. 契約書、個人ファイルなどは施錠できるロッカーなどで保管し、個人情報を携帯する場合には紛失や情報漏えいのないようダブルチェックで確認後、最小限の情報のみを携帯すること。
- イ. FAX及び郵送物の誤送付や通所介護における誤配付がないよう、ダブルチェック等を行い、細心の注意を払うこと。
- ウ. 広報誌等において、個人が特定できる写真や記事等を掲載する場合には、必ず

書面、または、口頭で了解を得てから実施すること。

エ. 個人情報保護の重要性に関しては、研修や日々のミーティングなどを通して職員へ周知していくと共に、個人情報の取り扱いについて細心の注意を払うよう繰り返し意識啓発を行うこと。

キ 情報公開への取組について

横浜市が制定する「情報公開条例」の趣旨に則り、当法人では情報公開規程を定めています。

公開している情報としては、法人の概要、サービス内容、財務状況、事業計画、事業報告等です。

情報開示に関する申し出があった場合は、個人情報保護に最大限配慮しつつ、積極的に情報開示に努めます。

ク 人権啓発への取組について

法人やケアプラザで人権に関する研修を定期的で開催し、職員が人権を尊重した対応ができるように取り組みました。虐待等の相談があった時には、区役所と共同で支援にあたると共に、必要に応じて関係機関と連携して支援を行いました。

ケ 環境等への配慮及び取組について

省エネルギー対策、ごみの減量化など良好な環境の維持の為に、節電・節水をこまめに行ったり、コピー用紙の裏面使用を励行するとともに、資源ごみの分別収集に協力しました。

植栽の管理等の環境保全の実施、夏季軽装での執務（クールビズ）・冬季の保温対策（ウォームビズ）に取り組むなど、適正な冷暖房の使用に努めるとともに、不要な照明の消灯や使用していない事務用機器の電源を落とすなど環境保全や地球温暖化防止への取組を継続して実施しました。

4 介護保険事業

(1) 介護予防支援事業

《職員体制》

保健師担当看護師 1名
社会福祉士 1名
主任ケアマネジャー 1名
介護予防プランナー 1名 (非常勤)

《目標》

- ア. 相談を受けたケースをアセスメントし、介護保険利用や地域資源・事業の紹介、インフォーマルサービスの紹介等、ご本人の状況やニーズにあわせ円滑に支援することを目指します。
- イ. 自立支援に向けた適切なケアマネジメントを目指します。
- ウ. ご本人の意欲を引き出せるようなケアマネジメントを目指します。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

ご本人が望む自立した生活ができ、要介護状態にならないようにケアマネジメントを行っています。介護保険サービス等のフォーマルサービスだけでなく、ご本人のニーズに合った地域活動等のインフォーマルサービスのご案内等を行います。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
167	165	165	168	161	167
10月	11月	12月	1月	2月	3月
164	163	162	164	158	159

(2) 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者（主任介護支援専門員兼務） 1名（常勤兼務）
介護支援専門員 3名（常勤専従）

《目標》

- ア. 特定事業所として質の高い適正な保健医療サービス及び福祉サービスが適正に提供されるよう公正・中立な立場で居宅サービス計画を作成しました。
- イ. 関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス事業者、インフォーマルサービスを提供しているボランティア団体等との綿密な連携にて、サービスの調整を実施しました。
- ウ. 居宅サービス計画は利用者自身の意見を反映すると共に、心身の状況や環境条件等に応じて、お客様が自立した日常生活を営む事を目標に作成しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

公共交通機関の運賃分（明細書等を作成し提示します。）

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ア. 特定事業所として質の高いケアマネジメントを提供しました。
- イ. 関係機関や地域と連携して地域包括ケアの実現に努めました。
- ウ. 介護支援専門員実務研修の実習生（3名）を受け入れました。

《利用者実績》

【単位：人】

4 □	5月	6月	7月	8月	9月
81	81	82	88	86	90
10月	11月	12月	1月	2月	3月
93	89	92	93	92	96

(3) 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- ア. お客様の心身の特性をふまえ、身体状況に応じて入浴・食事・排泄などの介護を提供しました。
- イ. (個別) 機能訓練や口腔器機能向上等を希望される方には実施計画等に基づきサービスを実施しました。
- ウ. 在宅生活を継続できる事を目標に自分でやってみたい事などに積極的に取り組めるよう各種活動を通して可能性を広げるための支援と環境づくりを行いました。

《実費負担(徴収する項目ごとに記載)》

ア. 1割負担分

(要介護1)	704円	(要介護2)	831円
(要介護3)	963円	(要介護4)	1095円
(要介護5)	1227円		
入浴加算	54円		
個別機能訓練加算(Ⅱ)	60円		
介護職員処遇改善加算(Ⅰ)	加算率4%		

イ. 食費負担 650円

《事業実施日数》 週 6 日

《提供時間》 9:30~16:35

《職員体制》 管理者 1名 生活相談員 3名 看護職員 7名
 介護職員 23名 機能訓練指導員 7名

《目標》

- ア. お客様一人ひとりがご自分の能力や意欲をできる限り発揮でき、その人らしい生活が送れるように自己選択・自己決定を大切にします。
- イ. 「自らの力でできる」喜びを大切に、自信を持って生活していただけるよう支援します。
- ウ. お客様同士が自然に助け合える社会性を育みます。
- エ. 認知症のお客様に対する取組を強化していきます。研修を通して、認知症に対する理解や知識を深めます。認知症のお客様が安心して過せるように、お客様に寄り添い専門性を持って対応します。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

- ア. お茶・コーヒー・紅茶等自由に飲みたい時に飲めるように配慮しています。
- イ. 各種イベント(運動会・秋祭り)や野菜作り・ガーデニング・手芸・料理・マージャン・囲碁・将棋・合奏等々、お客様が生き生きと参加いただけるメニューを取り揃えています。
- ウ. お客様の希望を聞きながら季節に合わせた作品作り等のプログラムを行います。

《利用者実績(延べ人数)》

【単位:人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
595	640	668	679	699	696
10月	11月	12月	1月	2月	3月
661	622	643	649	679	763

(4) 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- ア. 要介護状態にならない様に筋力強化と共に日常生活での転倒予防と生活意欲と生活目標が持てるよう支援を行いました。
- イ. 趣味や興味を引き出し、積極的に社会交流が出来るよう支援しました。
- ウ. 地域包括支援センターと連携をはかり総合的なサポートを実施しました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- ア. 1割負担分
 - (要支援1) 1766円
 - (要支援2) 3621円
 - 運動器機能向上加算 242円
 - サービス提供体制加算 要支援1 52円 要支援2 103円
 - 介護職員処遇改善加算(I) 加算率4%が加算されます。
- イ. 食費負担 650円

《事業実施日数》 週 6 日

《提供時間》 9:30~16:35

《職員体制》

通所介護事業同様 : 一体型

《目標》

- ア. 要支援状態の改善に向けた筋力の向上と生活に即した生活リハビリに重点を置き自立を目指した支援を行います。
- イ. 地域での交流や地域の一員としての生活意欲を発揮できるよう支援します。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ア. 自主性、自己選択、自己決定を大切にサービス提供を行いました。
- イ. 他の人との交流や思いやりの気持ちを大切にサービス提供に努めました。
- ウ. 自らの可能性を広げ新たな取組を行える環境づくりを行いました。

《利用者 実績（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
23	22	22	22	20	19
10月	11月	12月	1月	2月	3月
19	21	20	21	20	23

5 地域ケアプラザ

ア 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

【こども】

地域の子育て支援に関する情報収集に努め、お問い合わせに対して必要な情報発信ができるように努めました。

地域の主任児童委員と連携して各種支援事業に取り組めるよう良好な関係性の構築に努めました。

相談内容によっては必要に応じて区役所やラフルなど関係機関を紹介しました。

【障害】

地域の関係機関との連携強化に努め、相談内容に応じて必要な情報発信ができるよう心がけました。

相談内容によっては必要に応じて関係機関を紹介しました。

イ 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携(生活支援体制整備事業も含む)

毎月定期的に所内会議を開催し情報の共有化と連携強化に努めました。また、地域課題等を解決するために共催事業を企画し実施しました。

地域活動交流事業に参加している参加者の状況によっては、必要に応じて地域包括支援センターを紹介しました。また、地域包括支援センターで相談を受けた方で、地域活動交流事業の対象となりうる方については当該事業を紹介する等、相互に連携して地域で支援が必要な方を支えました。

「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」を目指す「健幸笑てん」について、運営がスムーズに行えるよう協働で支援を行いました。

生活支援体制整備事業・地域包括支援センターと連携して地域活動（サロン等）に参加し、顔の見える関係作りを行いました。

生活支援体制整備事業・地域活動交流事業と連携して、地域のボランティアグループ育成事業の準備を行いました。

ウ 職員体制・育成

それぞれの事業ごとに必要な、資格要件を満たした職員を人員配置基準に従って適正に配置しました。状況に応じて人員配置基準以上の職員を配置しました。

また、それぞれの専門分野における研修の受講や同職種間での勉強会（法人内20ケアプラザ合同）を実施しました。

経理等の一人職種の場合は法人内でバックアップしました。

職員同士が連携、協力し事業や業務に取り組むことで相互に育成し合える職員体制の構築に努めました。

エ 地域福祉のネットワーク構築

地域関係団体との連携を実現するために地区民生委員児童委員協議会の定例会など地域の定期的な会合へ地域包括支援センター職員と地域活動交流、生活支援コーディネーターが参加し情報交換・共有を図りました。

また、地域福祉保健計画推進会議のメンバーの一員として、地域の関係機関との連携に努めました。

「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」を目指す「健幸笑てん」について、運営がスムーズに行えるよう協力してサポートに努めました。

地域ケア会議等を通じて地域包括ケアシステムの構築を行いました。

オ 区行政との協働

青葉区地域福祉保健計画に基づき、区や地域福祉保健計画推進会議のメンバー、青葉区社会福祉協議会等と連携して、よりよい地域づくりに取り組みました。

区役所の地区担当と連携して、総合相談の支援や定例カンファレンス、介護者のつどい等の企画、開催に取り組みました。また、虐待や支援が困難なケース等について適宜、区役所と連携して支援を行いました。

区役所と協働で医療と介護の連携に取り組みました。

6 地域活動交流部門

ア 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

社会資源の状況や地域のニーズを把握するために地域の関係団体の会合への参加、ケアプラザ利用団体の方や事業参加者へのアンケートの実施等情報収集に努めました。

広報誌を月1回発行し積極的にケアプラザのPRや各種情報を提供すると共に各種チラシを作成し、よりわかりやすい情報提供を行いました。

子育て支援事業に関するチラシを、ラフルやこども家庭支援課に定期的に発送し情報発信の協力を依頼しました。

ホームページの継続的な更新を行うとともに、あおばみん等も活用して情報発信を行いました。様々なツールから地域の方が情報をキャッチできるよう多様な情報発信に努めました。

イ 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

ケアプラザ利用登録団体に対しては積極的にボランティア活動が出来る場の紹介を行いました。

また、ケアプラザの立地条件から日曜・夜間の利用者は少ない状態ですが、より利用しやすい施設とするため、休日・夜間については、車での来館について規制を緩和、車での来館を可能な限り認めるなど、より気軽に利用して頂けるよう引き続き周知に努めました。(平日昼間については駐車スペースの関係から1貸室ごと1台の駐車可としています。)

また、地域の方が来館され、情報を求められた際には、各団体についての情報を積極的にお知らせするように心がけるとともに、館内の掲示板を地域団体に開放し、依頼があった場合にはチラシを掲示しました。

登録団体用のチラシラックを用意し、登録団体が来館者に向けて情報発信できるようにしました。

ウ 自主企画事業

近隣の子育て支援施設(親と子のつどいの広場 WITH 等)と協力して、子育て支援事業「WITHクリスマス会」「幼児安全法」を実施しました。

子育て支援事業「さくらんぼひろば」の参加人数が減少傾向になったことから、区の保健師と相談し、手形足型作成や体重測定など、イベント要素を取り入れた企画を取り入れるなど工夫をしました。

その他、山内地区センターと共催にて「ボーイズクラブ」の支援を行いました。当グループは、地域の方と地域団体とを交流会を通して結び付けることを目的として、昨年度立ち上がった地域団体の集まりで、月1回の定例会と年2~3回程度のイベント開催を行いました。(「いまさら聞けないスマホのいろは」「JACK&BETTY学園祭」「青葉歴史探索」等)

エ ボランティアの育成及びコーディネート

登録済みボランティアについては、活動場所の情報提供を含め機動的なコーディネートができる仕組みづくりを図りました。

本人のニーズと合うボランティア活動がケアプラザで紹介できない場合には、青葉区社会福祉協議会のボランティア 110 番など他機関も案内しました。

地域のボランティアグループや機関から情報提供を求められた際には、各団体に積極的に声掛けをし、活動につながるよう支援しました。

7 地域包括支援センター

(1) 総合相談・支援

ア 総合相談

ア. 住み慣れた地域でその人らしく安心して生活の継続ができるよう、本人、家族、近隣住民、民生委員などから様々な相談を受けました。相談を受けた際には的確な状況把握に努め、適切な情報提供や支援を行うと共に、必要に応じて緊急対応を行いました。

イ. 地域包括支援センターが身近な相談窓口であることを、ケアプラザの掲示板・広報誌・ホームページ、また職員が地域の関係団体の会合や行事等に積極的に参加するなどして周知しました。

ウ. 電話や来所以外にも、職員が相談者宅に訪問し相談できることを周知しました。対応は迅速かつ柔軟、丁寧に行い、心配な事があれば引き続きいつでも相談できることを伝えました。

エ. 連絡待ち等で支援が中断している方へも状況に応じて連絡を入れることで状況を把握し、継続的な支援を提供しました。

オ. 当事者や相談者と信頼関係及び気軽に相談できる関係性を構築すると共に、必要なモニタリングを行いました。

イ 地域包括支援ネットワークの構築

ア. エリア内にある自治会や民生委員、ボランティア、福祉および医療機関、行政等と協力して、地域の課題について協働して検討していけるよう、積極的に地域の行事や専門職会議に参加し、ネットワークの構築に努めました。

イ. 「健幸笑てん」の取組を通して、地域住民が主体となって活動している団体同士がネットワークを構築し情報共有できる場を作りました。またホームページなどを活かし地域の見守りに関する情報を地域に向けて発信しました。

ウ 実態把握

ア. 月に1回、担当エリア内3か所の民生委員児童委員協議会の定例会に参加し、顔の見える関係作りに努めました。またエリア内の民生委員と直接話し合いをする場を設け、情報共有及び収集を行い地域課題等の把握に努めました。

イ. 地域の老人会や食事会、ミニデイや体操教室、介護者の集まり等に積極的に参加し、情報収集及び提供を行いました。

ウ. 個別ケース及び地域について必要に応じて訪問を行い、本人や家族、近隣住民等から情報収集を行いました。

エ. 相談後に介護保険のサービスにつながらない方々には個別に訪問し個々の状況を継続して把握することに努めました。

オ. 年に1回利用者アンケートを行い情報収集を行いました。

(2) 権利擁護

ア 権利擁護

- ア. 地域の方々がその人らしく暮らせるよう、適切な制度（成年後見制度や日常生活自立支援事業等）につなげるとともに、制度の普及啓発を行いました。
- イ. 地域の方に成年後見制度や消費者保護に関する情報を講座や地域の活動等を通して提供しました。2月に行った成年後見制度の講座には15名の参加がありました。
- ウ. 地域の行事などで成年後見制度、消費者被害や虐待について説明を行い、地域で気になる事があれば地域包括支援センター等へ連絡してほしいことを伝え、早期対応ができるよう努めました。
- エ. 自分から援助を求められない方を相談内容や実態把握の中から発見してアプローチを行い、本人の意思を尊重しながら支援を行いました。

イ 高齢者虐待

- ア. 虐待が疑われる事例を把握した場合は迅速に区役所に報告し、必要に応じてカンファレンスの実施や訪問をして、状況に即した適切な対応を区役所と連携して行いました。
- イ. 毎月のケアマネジャー向け定例カンファレンス等で虐待のケースについての話し合いや情報収集を行い、地域住民、民生委員、医療機関や在宅サービス事業者等と連携を深めるなどして早期発見に努めました。
- ウ. ケアマネジャーが担当している虐待のおそれのあるケースについては同行訪問して状況確認をし、区と連携して支援を行いました。
- エ. 「介護者のつどい」を年11回開催し、介護者支援を行うことで虐待予防に繋がりました。

ウ 認知症

- ア. 地域サロンのスタッフ、あざみ野第2小学校の4年生、薬剤師や地域住民を対象に「認知症サポーター養成講座」をケアプラザや地域の会場等に出向いて開催しました。認知症の方やその家族を見守り支援する「認知症サポーター」を多数養成することができました。
- イ. 「介護者のつどい」を年11回開催し、介護者や介護を経験した方同士が交流できる場を設け、認知症の方への対応や介護方法などの情報交換を行い介護者支援を行いました。7月には男性を対象にした「介護者の集い」を開催し、6名の参加がありました。
- ウ. 認知症支援について民生委員、地域住民、医療機関、在宅サービス事業者等との連携に努めました。
- エ. 地域内2ヶ所のグループホーム、4ヶ所の地域密着型デイサービスの運営推進会議に出席し施設と地域を繋げるよう努めました。

(3) 介護予防マネジメント

ア 介護予防ケアマネジメント力

- ア. 住み慣れた地域で自立した生活が継続できるよう、ケアマネジメントを提供しました。
- イ. 地域のケアマネジャーとの連携に努め、同行訪問やサービス担当者会議に参加しました。支援困難な方や被虐待疑いのある方についての対応相談にのったり、区役所や医療機関など他機関との協力・連携の促進に努めました。
- ウ. ケアマネジャー対象に介護予防従事者研修を区役所と協力して行いました。また、介護予防・日常生活支援総合事業について説明、制度の周知を行いました。
- エ. 地域のインフォーマルサービス情報をケアマネジャーに紹介し、適切な介護予防ケアマネジメントに結びつくよう支援しました。

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

ア 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ア. エリア内3地区の民生委員児童委員協議会に情報提供と顔の見える関係を継続するために、地域包括支援センターと地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターが協力して毎月訪問しました。
- イ. 地域の問題を一緒に考えていく機会として民生委員や関係者と話し合いの場を設けました。
- ウ. ケアマネジャーと民生委員との連携を、8月に区内の他包括と合同で行い、お互いの更なる職種理解と相談し合える関係づくりに努めました。
- エ. 地域住民に向けて地域の医療機関の医師を招いて講演を行いました。また、地域の医療機関が開催する研修等に参加し、情報交換や意見交換を行いました。

イ 医療・介護の連携推進支援

- ア. 地域包括ケアをめざし、区役所と医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護職との顔の見える場づくりを行う連絡会（月に1回）に参加しました。
- イ. 包括カンファレンスにおいて、医師、訪問看護師、薬剤師を招いてケアマネジャーの医療の知識の向上に努めました。
- ウ. 青葉区内5連絡会（ケアマネジャー、訪問看護、訪問介護、通所介護、施設）の顔の見える関係、相談し合える関係づくりのための「ねっとわーく青葉」に参加しました。広域（9月）、エリア別（2月）で2度開催しました。
- エ. 青葉区看護職連絡会に参加、医療連携に努めました。

ウ ケアマネジャー支援

- ア. 毎月エリア内の居宅介護支援事業所（6ヶ所）の訪問を行い、ケースの相談や情報提供を行いました。
- イ. 年11回包括カンファレンスを行い、勉強会や意見交換会などを通して、ケアマネジャーのスキルアップに繋げ、相談しやすい関係づくりに努めました。
- ウ. 区内のケアマネジャーの勉強会に、区内地域包括支援センターとして月1回参加し、支援しました。
- エ. 新人研修を年2回、区役所で募集を行い担当をしました。個別の研修や合同での研修で新人同士の連携ができるよう工夫しました。

エ 多職種協働による地域包括支援ネットワーク

- ア. 地域活動交流と地域包括支援センターが協働で取り組んでいる「健幸笑てん」について今年度も連携して取り組みました。
- イ. 自主事業において、特に高齢者支援事業においては、地域活動交流と共催で実施し、地域課題の共有と課題解決に向けた取組を協働で行いました。
- ウ. ケアプラザが力を入れて取り組んでいる認知症啓発活動について、地域活動交流と協働して認知症サポーター養成講座等に取り組みました。
- エ. 毎月定期的に地域活動交流と地域包括支援センターの合同会議を開催し、相互の情報共有や自主事業などの取組について検討や調整、計画立案を行いました。

(5) 介護予防事業

ア 介護予防事業

- ア. ロコモティブシンドロームの予防をめざし、運動・口腔ケア・栄養改善・認知症予防について、2 コース（4 回シリーズ）の介護予防講座を行いました。地域の方が参加し易いよう自治会館 2 ヶ所で行い、介護予防の普及、啓発に取り組みました。
- イ. 地域活動交流や生活支援コーディネーターと協力し、地域の高齢者を対象に“いつまでも元気でいるために”を目標にした「はつらつ体力チェック」を年 2 回開催しました。また、体力測定結果説明会にて結果説明と共に介護予防についての講座を行い、他の人と比べるのではなく自分の体力を知ることによって継続的な体力の維持・向上を図ることが大切であることを伝えました。
- ウ. 地域の方から要望があった、腰や膝が痛くても歩くことができる「ノルディックウォーキング教室」や認知症予防を目指した「スクエアステップ教室」を地域の運動指導者の協力のもと定期的に開催し、介護予防の取組と健康づくりの機会を増やしました。
- エ. 元気づくりステーション 3 ヶ所目の立ち上げを目指し、保健活動推進員や民生委員、地域のボランティアグループと連携し、老人会や食事会、サロンにてロコモ度チェックやハマトレ体操、ウォーキングなどに取り組みました。
- オ. 高齢者自らが介護予防に取り組む環境づくりとともに、地域の高齢者の健康づくりを助ける GOGO 健康サポーター支援の一環として、年に 2 回の「はつらつ体力チェック」や「結果説明会」、「体操教室」の協力を依頼しました。
- カ. “元気なうちから介護予防を行う大切さ”を伝えるために、老人会や食事会、サロンなど地域の集まりに出向き普及啓発を行いました。また、それぞれの場が介護や健康、日常の困りごとなどについて気軽に相談できる場ともなるよう取り組みました。

(6) 生活支援体制整備事業

ア 実施したこと

- ア. 5 職種で連携して地域の活動に参加し顔の見える関係づくりに努めました。その過程を通して、参加者の日常生活での困り事や活動を運営する上での困り事などのアセスメントを行い 5 職種で共有を図りました。
- イ. 自治会の班長会等で生活支援体制整備事業の説明を行いました。
- ウ. 老人会の活動継続支援（講師の紹介や体操の実施等）を行いました。
- エ. 地域分析を行いました（町別の高齢者率・要介護認定率・世帯率・地域活動交流事業の参加者割合等）。
- オ. 太極拳等のボランティア講師情報の収集を行いました。
- カ. 隣接するエリアの美しが丘地域 CP・すすき野地域 CP と協働して、民間企業である「美しが丘西 HAC」との連携を行いました（ノルディックウォークの普及活動）。

8 その他

- ア. 多角的な視点で当事者・家族・地域を支援できるよう地域ケア会議を開催しました。地域の関係団体などと地域課題の共有や協力体制を構築し、地域の方が住み慣れた場所で安心、安全に暮らせるまちづくりが出来ることを目指しました。
- イ. 介護予防を目的に日本体育大学と共催で「はつらつ体力チェック」と結果説明会を年2回実施し、地域での介護予防につなげました。
- ウ. 地域の方が自由にケアプラザを利用できる場として、交流ラウンジを開放しました。地域団体やサークルの打合せやちょっとした子育ての集まりの場などとして活用されています。
- エ. 誰もが自由に利用できる場である交流ラウンジの特性から、ラウンジを利用してサロンをしたいという希望を受け、ラウンジにてボランティアによるサロンを月2回開催しています。

平成28年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名: 横浜市大場地域ケア

平成28年4月1日～平成29年3月31日
(単位: 千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護 ・ 第1号通所介護	認知症対応型 通所介護	生活支援体制 整備事業
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援					
収入	指定管理料等収入	14,100	23,348	151						5,339
	介護保険収入				6,325	18,418	83,267	1,567	39,036	
	その他									
	介護予防ケアマネジメント費				3,317					
	認定調査委託料					350				
	雑収入	749	228							
	その他		-159		888		186			
収入合計(A)	14,849	23,416	151	10,530	18,768	83,452	1,567	39,036	5,339	
支出	人件費	11,250	20,592		1,014	17,267		57,584	19,808	4,749
	事務費	2,202	1,370		6,515	933		5,242	1,703	
	事業費	1,168	476	136	21	290		5,974	2,065	93
	管理費	3,769	1,002					6,428	2,143	
	その他									46
	拠点区分間繰入金		-9		2,980	278		6,250	13,317	451
	居介支委託分									
支出合計(B)	18,389	23,431	136	10,530	18,768		81,479	39,036	5,339	
収支 (A) - (B)	-3,540	-15	15	0	0		3,540	0	0	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
オアシス游	70歳以下で介護保険未利用	¥146,734	¥17,434	¥129,300	¥0	¥146,734	
	30人/回						
	600円						
にこにこランド	H26年度生れの子と保護者	¥340,260	¥71,340	¥268,920	¥315,000	¥15,540	¥9,720
	10組						
	830円						
WITHクリスマス会	未就園児と保護者	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	50組						
	0円						
ふれあいパークさくらんぼ	未就園児と保護者	¥284	¥284	¥0		¥284	
	20組/回						
	0円						
葉書絵	65歳以上	¥8,678	¥1,178	¥7,500	¥7,500	¥1,178	
	15人						
	500円						
納涼祭	地域の方	¥27,853	¥1,003	¥26,850		¥25,455	¥2,398
	180人						
	100円						
みんなでハイキング	地域の方	¥2,072	¥2,072	¥0	¥0	¥0	¥2,072
	20人/回						
	0円						
かやのき土曜コンサート	地域の方	¥15,000	¥5,800	¥9,200	¥9,000	¥6,000	
	30人/回						
	100円						
かやのき名画座	地域の方	¥54,000	¥54,000	¥0		¥54,000	
	50人						
	0円						
ちゅーりっぷシアター (人形劇)	乳幼児と保護者を中心に地域の方	¥5,000	¥5,000	¥0	¥0	¥5,000	¥0
	50人						
	0円						
とっぴんぱらり	未就園児と保護者	¥36,000	¥32,800	¥3,200	¥36,000		
	10組/回						
	100円						
面白科学で工作	小学生	¥11,525	¥6,085	¥5,440	¥5,000	¥5,965	¥560
	25人						
	320円						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
元気が出る体操	概ね65歳以上	¥200,340	¥0	¥200,340	¥190,820		¥9,520
	20人						
	420円						
かやのき祭り	地域の方	¥54,098	¥33,598	¥20,500		¥44,596	¥9,502
	400人						
	0円						
ボーイズクラブ	地域の方	¥0	¥0	¥0		¥0	
	15人						
	0円						
ボランティア交流会	ボランティア	¥15,424	¥15,424	¥0		¥15,424	
	50人						
	0円						
健身操	65歳以上で介護保険未利用	¥147,900	¥0	¥147,900	¥138,040		¥9,860
	25人						
	0円						
草刈り隊	登録団体の方	¥3,917	¥3,917	¥0		¥3,357	¥560
	20人						
	0円						
調理室大掃除	登録団体の方	¥2,890	¥2,890	¥0		¥2,890	
	10人						
	0円						
お話ごっこ012	2歳前後の子と保護者	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	10組						
昔遊びで脳活	65歳以上の方	¥0	¥0	¥0		¥0	
	50人						
	300円						
はじめのいっぽ	首が振った頃～1歳までの子と保護者	¥7,094	¥3,594	¥3,500		¥7,094	
	8組						
	500円						
親と子のおやつタイム	小学生と保護者	¥4,322	¥3,322	¥1,000	¥0	¥3,762	¥560
	10組						
	500円						
パパの子育て講座 体を使ってパパと遊ぼう	0～3歳児とその父親	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	15組						
	0円						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
子育てひろばあざみ野	未就園児と保護者	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	特になし						
	0円						
書初め	小中学生を中心にどなたでも	¥1,682	¥482	¥1,200	¥0	¥1,262	¥420
	20人						
	100円						
幼児安全法	テーマに関心のある方	¥0	¥0	¥0	¥24,000		¥24,000
	30人						
	0円						
※収入は保育料+社協による助成							
認知症サポーター養成講座	一般	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	特になし						
	0円						
定例カンファレンス	エリア内ケアマネジャー	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	特になし						
	0円						
新任ケアマネ研修	新任ケアマネジャー	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	2名						
	0円						
ねっとわーく青葉	区内5連絡会	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	特になし						
	0円						
介護者の集い	地域の方	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	75名						
	0円						
男性介護者の集い	地域の方	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	6名						
	0円						
成年後見制度講座	一般	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	15名						
	0円						

事業ごとに別紙に記載してください。

横浜市大場地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
オアシス游	<p>(内容) ボランティアによる食事会。</p> <p>(目的) ①地域の高齢者の外出の機会の創出。 ②地域での仲間作り。</p>	偶数月の第一 (水) 6回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
にこにこランド	<p>(内容) 本年度に2歳になる子と保護者を対象としたリトミック。</p> <p>(目的) ①同世代の子を持つ保護者同士の交流のきっかけ作り。 ②終了後子育てグループの発足に繋げる。</p>	4月～7月・9月～12 月の(木) ※ 第一(木)除 く 21回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
WITHクリスマス会	<p>(内容) 親と子のつどいの広場WITHと共催で行う親子で楽しむクリスマスイベント。</p> <p>(目的) ①地域の同世代の子を持つ保護者と子の交流を図る。 ②地域ケアプラザの子育て支援事業及びWITHを地域にPRする。</p>	12月5日 1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふれあいパーク さくらんぼひろば	<p>(内容) 時間内出入り自由で玩具で自由に遊べる未就園児を対象とした広場。</p> <p>(目的) ①近隣地域在住の親子同士の交流の機会を作り。 ②親子同士の交流を通して、親子の孤立を防ぐ。</p>	毎月第一(木) 12回/年

横浜市大場地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
葉書絵	<p>(内容) 60歳以上の方を対象とした葉書を用いた水彩画教室。</p> <p>(目的) ①地域の方の高齢者同士の交流の促進。 ②ケアプラザについて地域住民への広報を図る。</p>	7月13日 12月14日 2回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
納涼祭	<p>(内容) 地域の方、特に子供を対象とした流しそうめん大会。</p> <p>(目的) ①様々な世代の方が同じイベントに参加することによる世代間交流の促進。 ②夏休みの小学生及び乳幼児の余暇支援。</p>	7月27日 1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなでハイキング	<p>(内容) 地域の方を対象とした1日ウォーキング。</p> <p>(目的) ①地域の方の交流の促進。 ②地域の高齢者の健康増進。 ③男性の外出機会の創出。</p>	10月6日 1回/年 ※4月は雨天により中止

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かやのき土曜コンサート	<p>(内容) 地域の音楽家の方に出演していただくミニコンサート。</p> <p>(目的) ①生の音楽音に触れる機会を設け、地域住民同士の交流を図る。 ②企画の中で地域での音楽演奏サークルなどの出演機会を設け、地域活動への参加を促す。</p>	5月28日・7月9日・ 9月24日・11月12 日・1月28日・3月 25日 6回/年

横浜市大場地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
かやのき名画座	<p>(内容) 地域の方を対象とした映画会。</p> <p>(目的) ①高齢者、特に男性の外出の機会の創出。 ②ケアプラザの広報を図る。</p>	4月・10月の第3 (水) 2回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ちゅーりっぷシアター (人形劇)	<p>(内容) 座♪とんとんによる人形劇公演。</p> <p>(目的) 地域の子育て中の方の外出機会の創出と保護者のリフレッシュの機会を作る。</p>	12月21日 1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
とっぴんぱらり	<p>(内容) 未就園児を対象としたわらべ歌、手遊びの広場。</p> <p>(目的) ①地域の乳幼児のいる親子の閉じこもり防止。 ②地域の親子の交流の促進。</p>	毎月第2(金) ※ 8月は26日 12回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
面白科学で工作	<p>(内容) 小学生を対象とした工作教室。</p> <p>(内容) ①年齢の違う子どもたちが一緒に作業することでお互いの交流を図る。 ②親世代より上の大人である講師との世代間交流を図る。</p>	7月30日 1回/年

横浜市大場地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
元気になる体操	<p>(内容) 60歳以上を対象とした介護予防体操教室。</p> <p>(目的) ①地域の高齢者の方の交流の促進。 ②介護予防への意識付け。</p>	<p>第1・3・4 (火) ※ 祝日除く 35回/年</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かやのき祭り	<p>(内容) ケアプラザ祭り</p> <p>(目的) ①地域の方に施設をPRする。 ②利用団体同士の交流。</p>	<p>11月20日 1回/年</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボーイズクラブ	<p>(内容) 地域の方と地域の団体が出会う場を作ることを目的としたグループ活動。</p> <p>(目的) 活動の継続とPRの支援。</p>	<p>毎月第4(木) +イベント 14回/年</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア交流会	<p>(内容) ボランティアを対象とした交流会と勉強会。</p> <p>(目的) ①ケアプラザに関わっているボランティア同士の交流の機会を設ける。 ②ボランティアの方の学習の機会を設ける。</p>	<p>2月11日 1回/年</p>

横浜市大場地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
健身操	<p>(内容) 高齢者を対象とした介護予防体操教室。座ったままできる体操を中心に実施。</p> <p>(目的) ①地域の高齢者の健康増進による介護予防。 ②仲間作りの促進。</p>	第2・4(木) 24回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
草刈り隊	<p>(内容) 登録団体と一緒にを行う敷地内の除草作業。</p> <p>(目的) ①利用団体同士の交流の促進。 ②施設に対し愛着を持ってもらうこと。</p>	5月30日 雨天により中止 0回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
調理室大掃除	<p>(内容) 調理室利用団体の方と行う調理室の大掃除。</p> <p>(目的) ①利用団体同士の交流の促進。 ②きれいに利用しようという意識付け。</p>	3月28日 1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お話ごっこ012	<p>(内容) 6か月～2歳くらいまでを対象とした絵本の読み聞かせと手遊びの講座。</p> <p>(目的) ①乳児の保護者の子育て不安を和らげる。 ②同世代の子を持つ保護者同士の交流。 ③次世代の読み聞かせボランティアの育成。</p>	6月頃～11月の第4(火) ※ 8月は休み 5回/年

横浜市大場地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
昔遊びで脳活	<p>(内容) 高齢者を対象とした脳トレゲーム。</p> <p>(目的) ①軽運動と回想法を取り入れた昔あそびを行うことで、脳の活性化を促進する。 ②地域包括支援センターのPR。</p> <p>※ 収支は全て共催の美しが丘地域ケアプラザが管理。</p>	6月10日 1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
はじめのいっぽ	<p>(内容) 乳児を対象としたベビーマッサージとリズム遊び講座。</p> <p>(目的) ①同世代の子を持つ母親同士の交流ができる。 ②リズム遊びやマッサージを通して、こどもとのふれあい方を学ぶ。</p>	9月13日・10月11日・11月8日・12月13日 4回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親と子のおやつタイム	<p>(内容) 小学生と保護者によるおやつづくり講座。</p> <p>(内容) ①年齢の違う子どもたちが一緒に作業することでお互いの交流を図る。 ②小学生と保護者にケアプラザに来館してもらうきっかけを作る。</p>	7月21日 1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パパの子育て講座 体を使ってパパと遊ぼう	<p>(内容) 乳幼児と父親を対象とした先輩パパによる遊ばせ方講座。</p> <p>(目的) ①父親の育児支援と、地域とのつながりを作るきっかけ作り。 ②母親の休息。</p>	9月3日 1回/年

横浜市大場地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育てひろばあざみ野	<p>(内容) 山内地区民生委員児童委員協議会による子育てひろばの後方支援。</p> <p>(目的) 平成27年4月～開始した山内地区民生委員児童委員協議会による子育てひろばの運営がスムーズにいくように支援。</p>	6月10日 1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
書初め	<p>(内容) 小中学生を中心に一般の方も一緒にできる書道サークル書遊会との共催による書初め。</p> <p>(目的) ①共通の取り組みを通して多世代の交流ができる。 ②小学生がケアプラザに来館するきっかけを作る。</p>	1月7日 1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
幼児安全法	<p>(内容) 日赤の幼児安全法指導員による幼児安全法講習。</p> <p>(目的) ①地域の子育てひろばのボランティアのスキルアップ。 ②必要な知識を学ぶことにより、子育て中の方の不安軽減と、世代の近い子を持つ保護者の交流。</p>	3月1日 1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	<p>(内容) 養成講座の開催</p> <p>(目的) 地域の方に認知症を正しく理解して頂き、認知症の方々が安心して過ごせる地域づくりを目指す。</p>	年4回 5/11・7/11・ 7/28・11/26

横浜市大場地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
定例カンファレンス	<p>(内容)</p> <p>①毎月エリア内のケアマネジャーを対象に、勉強会や交流会、情報提供を行う。</p> <p>②民生委員や医療（医師、訪問看護師、薬剤師）との連携の場を設ける。</p> <p>(目的)</p> <p>ケアマネジャースキルアップ。関係者間の連携強化。</p>	11回 (12月以外毎月開催)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
新任ケアマネ研修	<p>(内容)</p> <p>区内の新任ケアマネジャーに、区内包括地域支援センター合同でオリエンテーションや研修、実習を行う。</p> <p>(目的)</p> <p>新任ケアマネジャーの育成、連携強化。</p>	前期 (6月～9月) 後期 (11月～2月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ねっとわーく青葉	<p>(内容)</p> <p>区内5連絡会（ケアマネジャー、訪問介護、通所、訪問看護、施設）の顔の見える、相談し合える関係づくりのために顔を合わせと意見交換会等を行う。</p> <p>(目的)</p> <p>①区内5連絡会の顔の見える関係づくり。</p> <p>②連携強化。</p>	全体会 (9月)、 エリア会 (2月)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護者の集い	<p>(内容)</p> <p>介護者間の情報交換会及び交流、介護に関する情報提供</p> <p>(目的)</p> <p>介護者の介護ストレスの軽減及び介護者間の交流、リフレッシュの場として</p>	11回/年 7月を除く毎月第4水曜日に実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男性介護者の集い	<p>(内容) 男性介護者間の情報交換会及び交流、介護に関する情報提供</p> <p>(目的) 普段介護者の集いに参加されない男性介護者の介護ストレスの軽減及び介護者間の交流、リフレッシュの場として</p>	1回（7月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
成年後見制度講座	<p>(内容) 成年後見制度に関する情報提供</p> <p>(目的) 成年後見制度に関する情報提供と普及啓発活動</p>	1回（2月）